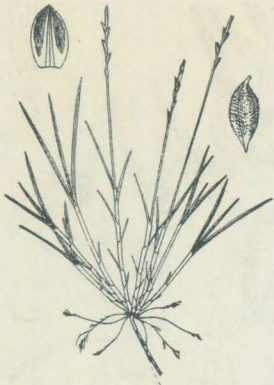


ひなすげ

*Carex grallatoria Maxim.*

東北地方から主に太平洋斜面を四国、九州にまで分布し、乾いた山地の林下や岩間に生える多年生草本。葉は枯れた儘年を越し、春5月に血褐乃至紫褐色の穂が新葉間に立つ時にも残る。小さい株立となり細い地下茎あり。葉は纖弱、巾約1-2.5mm、花後伸長する。稈は高さ7-15cm、普通雌雄異株で稈頂に長さ1-1.5cmの穂を単生。穎(図左)は長さ3.5mm、光沢、濃色の著色、時に淡色、果囊(図右)は穎とほぼ同長、斜開してつき、2稜著るしく全体微毛あり。柱頭は3。葉が一般に広く、且つ雌雄同株となり、穂の上部1-2花が雄花化したのをサナギスゲ(*C. gr. var. heteroclita Kük.*)といい、ほぼ基本種と同地方に産する。

かやつりぐさ科

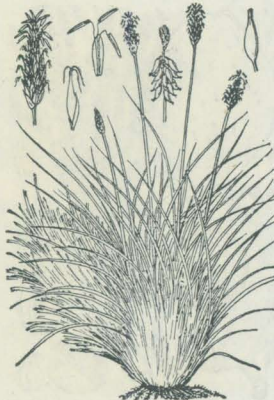


きんすげ

*Carex pyrenaica Wahlenb.*

周北の寒地一帯に分布、日本では南アルプス以北の高山帯の稍湿潤の陽地に生える多年生草本。葉を密生した株立ちとなり、高さ20cm内外。葉は稈より低く巾1-2mmで稍剛質、濃緑色、両縁多少内に捲く。稈は殆んど直立し、鈍3稜で細く、殆んど平滑。7月に頂に穂を1個つけるがその長さ1-2cm、上部の2-3花のみが雄性、雌雄共に光沢のある黄褐〜赤褐色、はじめ広線形、花が稔るにつれて次第に太く、遂には開出反捲した果実が毛槍状となる。果囊(図右端)は穎より超出、長さ4mm内外、これも穎と同一色に熟するので、その色から和名を生じた。茎高く、果囊亦5mmを超えるをセイタカキンスゲというのが区別するに当らない。イトキンスゲに近いが稍々硬く且つ捲き気味の葉、鈍稜で平滑の稈、強くそりかえる果囊によって区別できる。

かやつりぐさ科



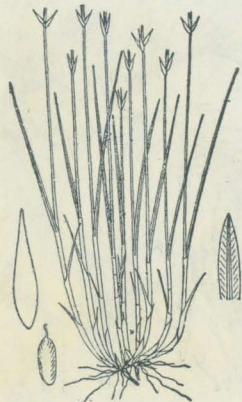
たかねはりすげ

一名みかえりすげ

*Carex pauciflora Lightf.*

周北要素の一つで、信州苗場、上州尾瀬、等から以北の水蘚湿原に生える多年生草本。高さ15cm内外、細い地下茎は横走し且つ錯雑する。葉は黄緑色で茎より多少低く、巾1mm、縁は内方に捲く。茎は傾上し、苞を伴わず、頂に穂を一つつける。穂は長さ1cm許りで花時は細いが、結実時には穎は脱落し疎に熟した果実が開出反捲して披がる。頂部の2-3花のみ雄性。雌花の穎(図右)は長さ5mm位、鉄さび色。果囊(図左上)は穎より超出し、細い鈍三稜形で黄緑色、成熟するにつれてそり反るので身返りスゲの名がある。図の株は果実の若い時の状態で、余り良好でない。

かやつりぐさ科



らすいろすげ

一名えぞかわすげ

*Carex pallida C.A.Meyer*

(=*C. accrescens Ohwi*)

旧大陸の寒帯に亘り、稍湿った路傍林縁に多い多年生草本で、我国では北海道に普通。地下に紫黒色の鱗片葉で包まれた丈夫な地下茎が横走し、稍疎に高さ40cm内外の茎を立て下部に数葉を伴う。葉は広線形で巾4mm内外、淡緑色で質薄く且つ平坦。6月頃茎頂に長さ1cm未満の小穂10個許りを円柱状の集団につけるが下では多少漸縮する。花時には柱頭が著るしい。各小穂の上部は雄花。穎は卵形で長さ2.5mm、緑背、淡褐色、乃至殆んど白い膜質の両縁が広いのでウスイロスゲの名がある。果囊は穎より長く熟する時には稍々外方に反り、扁平された長卵状で両側に翼があり、全体ざらつく。柱頭は2個。

かやつりぐさ科

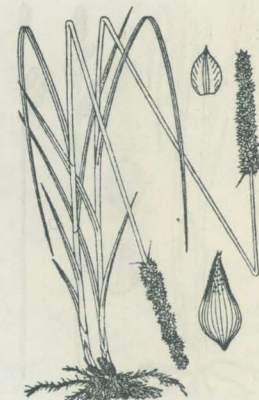


きびのみのぼろすげ

*Carex Paxii Kükenth.*

吉備地方(備前、備中、備後)の湿り気のある路傍向陽地に稀に産する多年生草本。朝鮮及び支那にも分布する。地下茎は密な塊りをなし、匍枝を生ぜず。茎は高さ60cmに達し、イグサ状で多少3稜性、葉は稍剛質で巾2mm内外、小穂は皆雌雄性で、上部が雄性、長さ5mm内外、多数集合して茎頂にはほぼ不規則な円柱状となる。各小穂下の苞は下方の若干だけが細く突出する。穎(図上)は長さ2mm、白味勝の淡褐色の膜質で3脈が著るしい。果囊(図下)は穎より超出、稍々開出し、皮質で、上部嘴となる辺の両側は狭い翼をなし、また赤点があるのはミコシガヤに似ている。和名は産地に基づく。

かやつりぐさ科



えぞのころぼうむぎ

*Carex macrocephala Willd.*

北太平洋沿岸(オレゴン以北北海道東部及北部に至る)の砂浜に生ずる強剛の多年生草本。北海道以南の コウボウムギ と地方型を異にするものと思われる。花茎が鋭3稜形でざらつき、雌花穎は膜質で肋に3脈のみを有し、果囊は中央以下で強く背面に反りかえり、そのために穂全体はいか状或ははじけた感じが強く、また果囊の嘴は一層長い平滑、そのかわりにその下方は鋭い歯牙状の刻みある広翼をなす差がある。本図は若い雌株で、特徴が余りよく出ていない。

かやつりぐさ科

